



2017年9月13日

ジェットスター・ジャパン株式会社

## ジェットスター・ジャパン、新たな経営体制を発表

ジェットスター・ジャパン株式会社(本社:千葉県成田市、代表取締役社長:片岡優)は本日、経営体制の変更を発表しました。9月8日付けで代表取締役会長 片岡優が代表取締役社長に就任し、ジェリー・ターナーが CEO を退任し、ジェットスター・ジャパンの会長に就任しました。また、ジェットスターグループのニック・ローラックが、取締役チーフエグゼクティブアドバイザーとして片岡をはじめとする経営陣と共にジェットスター・ジャパンの日常業務を統括し、同社の戦略を進めていきます。

ジェットスターグループ CEO のジェイン・ハードリカは、次のように述べています。「新たな経営陣は、将来に向けてジェットスター・ジャパンを確実に強化していくと確信しています。日本のLCC 業界を牽引するジェットスター・ジャパンの成功は、経営陣の能力の高さを証明するものです。経営陣はジェットスター・ジャパンの設立当初から、国際線への拡大、日本国内最大かつ最も知名度の高い(注)LCC への成長、持続的に利益を出す航空会社となることを目指して尽力してきました」

「片岡は日本市場に関して深い知見を持つ、日本を代表する LCC エキスパートの一人で、ローラックは戦略とカスタマー・サービスにおいて貴重な経験を蓄積してきました。ジェットスター・ジャパンをさらに強化し、今後もマーケットリーダーであり続けるためには、片岡、ローラックとターナーのチームが不可欠です。」

片岡は、航空業界で約 30 年のキャリアを有しています。2006 年にジェットスター航空に入社して以来、ジェットスターグループの日本支社長などを含め、経営に関わる数々の役職を務めたのち、2015 年 4 月にジェットスター・ジャパンの代表取締役会長に就任しました。

ローラックは、ボストン・コンサルティング・グループで経営コンサルタントを務めたのち、6 年前からジェットスターグループおよびカンタスグループにおいて経営に関わっており、ジェットスター香港の立ち上げにあたり、経営陣として重要な役割を果たしました。その後、カスタマーおよび戦略の責任者として、ジェットスターグループの成長に貢献してきました。

(注) <http://www.campaignasia.com/Top1000Brands>

ターナーはジェットスターに 13 年前に入社以来、ジェットスターグループおよびグループの航空会社において数々の経営に関わる役職を務めています。グループ全体のオペレーションの責任者として、日本、シンガポール、ベトナムを含むジェットスターグループの各航空会社をサポートしたのち、2015 年 4 月にジェットスター・ジャパン CEO に就任しました。ターナーは航空業界で 36 年間、LCC 業界で 24 年間の経歴を持ち、世界で最も経験豊富な LCC 経営者の一人です。

ジェットスター・ジャパンは、2012 年 7 月より運航を開始し、現在 21 機の機体を保有しています。15 を越える就航地へ計 25 の国内・国際路線を運航し、5 年間で 2,000 万人以上のお客様にご利用いただいています。また、今後 2019 年までに保有機体数を 21 機から 28 機へ拡充する計画を発表しています。

#### 【ジェットスター・ジャパンについて】

「日本の空、世界の空を、もっと身近に。」をビジョンとして掲げ、2012 年 7 月より東京(成田)、大阪(関西)、札幌(新千歳)、福岡、沖縄(那覇)に就航し日本国内線の運航を開始しました。その後、名古屋(中部)、大分、鹿児島、松山、高松、熊本へと国内の就航地を広げたのち、2015 年 2 月の香港線の開設を皮切りに同年 11 月の台北線、2016 年 3 月のマニラ線、2017 年 6 月の上海線と国際路線網を拡充しています。現在、国内最大の LCC として国内 16 路線、国際 9 路線を 21 機のエアバス A320 型機(180 人)で 1 日約 100 便を運航しており、就航から 5 年で 2,000 万人以上のお客様にご利用いただいています。なお、ジェットスター・ジャパンには豪カンタスグループ、日本航空株式会社、三菱商事株式会社、東京センチュリー株式会社が出資しています。

<http://www.jetstar.com>

#### 【ジェットスターグループについて】

ジェットスターグループは、アジア太平洋地域において売上で最大規模を誇る LCC の一つであり、2004 年の運航開始以来 2 億人超のお客様にご利用いただいています。ジェットスターグループのアジア太平洋地域での従業員数は 2004 年の 400 名から現在では 7,600 名へと増加し、雇用の面でも大きな成長を遂げました。ジェットスターグループ全体では、合わせて 131 機でアジアの 18 カ国 85 以上の都市に週 5,000 便以上を運航しています。毎日いつでも低運賃を提供することで、より多くのお客様に、より多くの場所へより高頻度で飛行機をご利用いただくことをグループのミッションとして掲げています。